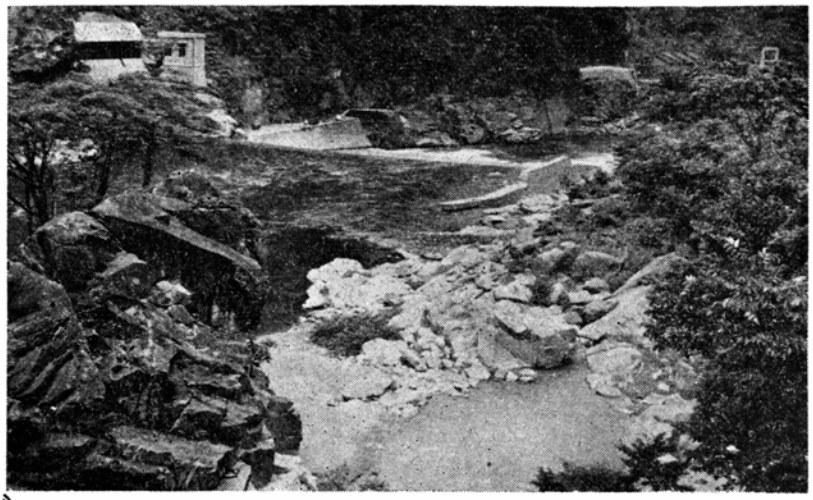
発行
昭和30年8月1日
第14号

大野市報

発行所
福井県大野市役所
編集人
大野市役所総務課
広報係
電話代表大野900番

景勝と電力と



（写眞は九頭竜峡の一景）

渓谷美を誇る奥越の二大渓谷＝九頭竜峡、眞名峡は幾多の伝説奇聞を秘め春は新緑萠え、夏は斷崖絶壁の滝や名物鮎釣に涼を求め、秋の紅葉映える景勝は実に壯観そのものである。又点在する数多い發電所は、我国電力供給地として名高く、北陸関西電力發電所に属し、五万貳千六百KWを生産その殆どが関西方面へ送電され、中京、京阪神工業地帯の産業、文化の発達にこうけんしている。尚これら電力施設が大野市に有する固定資産は拾貳億壹千六百参拾四万余円で大野市へは壹千八百五拾貳万八千円の市税をうるおしている我々はこの大自然の恩恵に報ゆるべく治山、治水に努め、大野市建設の基を堅めよう。

知事を囲む座談会

越美北線の早期開通など要望

七月二十一日名古屋の全国統計大会に出席した羽根知事は帰路を岐阜から福井県境油坂峠を経て二十二日大野市に立ちよられた。当日午後四時市長始め市会議長は富田地係迄出迎え、眞名川に架かる君が代橋の早期架替の陳情をなし、五時から有終南小学校で知事を囲む座談会が催された。うだる様な暑さであつたが、多数の出席があつて活発な要望が数多く出た。知事は盛りたくさんの陳情や要望を担がされて七時閉会した。要望の概要は次の通りである。

▲越美線早期開通について知事の見通し、中小企業対策についての抱負如何。知事は全力を尽して越美線の早期開通に当つてほしい。

▼解答＝楽観的な気分でおられない。これには政治力を結集して当らなければならない。

▲土地交換分合等の認可申請書類提出分を早く認可してほしい。

▼解答＝調査の上すみやかに認可するようにしたい。

▲市町村合併後の新市育成の対策が望ましい。地方交付税の増額、農業団体の整備統合に付て

▼解答＝いまだ合併促進中であり育成問題については、中央でも研究中である。

▲県坦林道の県費補助額の増額を要望する。

▼解答＝石川、富山は三割補助であるが本県は四割であるからまだよい方である。

▲阪谷大月地係にあるダムの副堰提、土砂止堰提の早期構築。

▼解答＝砂防と話し合いの上善処したい。

▲九頭竜川水系、富田地系にない電源供給の地がある。知事も開発に尽力してほしい

▼解答＝中央に対してそのように折衝しよう

▲大野市内の各学校校舎が老朽甚だしい。県はこれらの校舎の改築に協力を望む。

▼解答＝考慮したい。

▲木の本開拓土地改良区の県費による利子補給。六呂師牧野の国庫補助がうちきりとなつたが、県費でその分も補助してほしい。木の本開拓の用排水事業により下流、下庄大月地係が特に悪水時は水びたりとなるのでこの善処方を望む。

▼解答＝善処したい。

▲木の本開拓用排水事業に関連して大野市中心街に非常用水を設けてほしい。

▼解答＝その計画で進んでいる

▲塚原開拓を計画的に県で行つてほしい。農道補助の増額、大農具、動力耕耘機購入補助又は融資額の増大、ほか民生関係の要望や知事の抱負を聞いた。

風見鶏

▼「この暑さ青いちぢくを眼に堪うる爽雨」突暑の差が激しい日本に生れた事を、今夏の様に思い知る夏が来た。云つてみた所で涼しくならない事とは知りながら「暑いゝゝ」の連発。しかしこの暑さの中で黙々と働いている人のいる事を思えば、グチも出なくなると云うものである。「宙を踏む人や青田の水車子規」田のいきれがムッと立ちこめた中で、ビッショリ汗をかいて水車をふむ努力があつてこそ、秋の豊穣は招来される

▼今年は戦争が終つて十年目「広島の西日かなしき駅前に爽雨」あの無残な想い出を残した広島の空には、今日も十年前と同じ太陽が照つている。種々な議論をよそに、日本にも濃縮ウランが与えられる事になつた。再び人類を亡す為に役立つてはならない

▼河や海は今やカッパ天国の御開帖。若い人々は山へ登るであろう。「いかづちの夜空をさらぬキャンプかな誓子」一晩中雷に驚かされてねむれないのも楽しい思い出となるであろう。

▼「サジなめて童たのしも夏氷誓子」あげくの果、腹をこわして「病院の廊下鏡の夜半の夏汀女」とならない様に

▼夏の風物詩をくりひろげて今日も明日へと眼に見えぬ時がたつてゆく。

◆十月一日は国勢調査日　皆さん協力しましょう

本年産米集荷予定数量決る

農協別集荷予定数量

集荷業者名	集荷予定数量	努力目標数量
大野	一、六四九石	一、九〇〇石
小山	三、三七七	三、七〇〇
乾側	二、八三五	三、八五〇
下庄	七、二八七	九、一〇〇
富田	六、二一二	七、〇〇〇
上庄	九、三六一	一一、九五〇
阪谷	二、九八六	四、〇〇〇
五箇	九	二〇
計	三三、七一六	四一、五二〇

税金はどの様に使われているか

今年の市の税金（固定資産税も市民税も）はそれぞれ年額決定の通知が、お手許に届いて第一期の納税をお済し願つたことと存じますが、この際皆様が納めていたゞいた貴い税金は一体市のどの様な面に使われているかをお知らせして、今後益々納税を通じて市政への御協力を是非お願い致したいと存じます。

その先に一言ふれておきたいのは、昨年七月市制が実施されたとき、今後三ヵ年は旧各町村の実情を尊重して市になつても不均一課税をするということが決められておるのでありますが、これがときどき間違え伝えられて市になつても税金は高くしないということに誤解されておるように聞いておりますが、この不均一課税というのは当時の旧町村では、それぞれの財政力に応じて税率を法の許す範囲内に於てその伸縮を認められておるので、それを市になつたからといつて直ちにある一定率にすることは市民の負担の急激な変動を来すと云うので、三ヵ年間は旧町村で採用していた各税率を、その儘据置くことにしたので、決して税額そのものを高くしないと云うことと別になることをまず御了解願いたいのでありますところが本年の固定資産税でありますが、これは恐らくどなたの税額も昨年より高くなつておると思いますが、これは次の様な理由があることを御承知願います

即ち、田、畑、山林、宅地家屋等の固定資産には、毎年政府から全国各市町村毎にその市町村の平均価格（田、畑、山林ならば反当価格、山林、宅地、家屋ならば坪当）が指示され、それにその市町村の固定資産毎の総面積を乗じたものを総評価額とするものでありますが、本年政府から指示された平均価格が田二割八分畑六割一分、山林約二倍、宅地二割八分、家屋約四割昨年分より高くなつているので、これは全国均一なことであり、市になつたから合併したからと云う様なことが原因しているのではないのであります。それで市は国からの指示価格は忠実に履行しますが、税率については昨年の千分の十五を本年は下げまして千分の十四とし幾分でも市民の負担の経減を計つたつもりです

又市民税は御承知の様に昨年度の各人の所得が基準となるもので一概には申されませんが、昨年は特に一昨年の農家所得が凶作の爲低かつたのに比較しますと、本年度の税額は約三割程度高くなつて来るのが普通の状況となつています。

いずれに致しましても税金の調査は公正にし、賦課を厳正にすることをモットーとし、市民が納得して納税していただく様に努力して行かねばならないと、係員一同勉強しております。

それでこの様にして、納税していただいた税金は市民各位の貴重な市政努力への結晶でありますので、この使い途については最も適切な面に、最も効果的に使われる様に努力せねばならないのでありますが、今、本年度の市税についてみますと、総額一億一千五百貳拾参万円で歳入予算総額二億八千七百貳拾参万余円との割合は四〇％でありまして市の必要経費の半額にも満たないので、あとの六〇％は主として他からの依存財政で財源を賄つています。

主な歳出経費を拾つて見ますと、議会費三百三拾万円市役所費四千三百九拾八万円、消防費一千三百万円、公債費一千五拾万円、教育費三千三拾万円、この外に学校増改築費四千二百六拾五万円だけを合計しても既に市税額に近い一億百八万円となるのでありまして、市役所全体の人件費総額五千五百七拾八万円は市税の四七％となり、即ち税金の半額は人件費だと云うても過言でないことになります

そうすると他の土木費三千七百拾四万円、教育費中増改築費四千二百六拾五万円社会労働施設費二千七百九万円、保健衛生費一千九百拾八万円、産業経済費四千七百九拾九万円、其他千二百二万円合計は結局市税以外の地方交付税、国、県よりの支出金、寄附金、市債などで償つて行かねばならないのであります。しかしながら何を云つても市民として市政に直接協力していただく方法としては納税より他に途がなく、これが民主政治の一番の近道であり又この税の使い途に監視の気持をもつていただくことこそ市民の義務であります

そのためにはまず納税の義務を果していただいてこそ予算通りの仕事も出来る訳であり、もし滞納が多くなればなる程、市の仕事がとゞこおつて来、延いては市民の御迷惑になることをよく御理解下さいまして納税についての御協力をいただき、市は又その貴い税金を良心をもつて市民に還元されることを御誓い致します

今月の行事

一日（月）六呂師分校ッ反注射
森百小学校ッ反注射
二日（火）庄林分校ッ反注射
中保分校ッ反注射
三日（水）六呂師分校BCG注射
射　森百小学校BCG注射
四日（木）庄林分校BCG注射
中保分校BCG注射
八日（月）下庄小学校ッ反注射
十日（水）下庄小学校BCG注射
上旬　八月一日現在農家所有耕作状況調査打合　水稲健苗育成普及計画策定打合会
十一日（木）上庄出張所　市戸籍事務研究会
十八日（木）乾側小学校　乳児検診
中旬　青少年問題協議会　麦採種圃設置打合
二十二日（月）下庄小学校　乳児検診
二十三日（火）上庄小学校　乳児検診
二十四日（水）小山小学校　乳児検診
二十五日（木）有終南小学校　乳児検診
二十六日（金）有終西小学校　乳児検診
二十九日（月）富田小学校　乳児検診
三十日（火）阪谷小学校　乳児検診
三十一日（水）五箇公民館　乳児検診
下旬　農業委員講習会

有畜営農は
先ずサイロの建造から

家畜の飼料で最も重要な粗飼料は春から秋にかけての青草期間中は畑の生産物や副産物、山野の雑草で充分間にあうが、冬は地上から青草がすつかりなくなる爲、サイロなどの貯藏設備のない農家では青草の欠亡によつて病気をだしたり、産乳を減らし肥育を遅らす事が非常に多く、粗飼料の確保が一つの悩みの種になつている。

粗飼料の貯藏には色々方法もあるが、最も適切なものはサイロを使つてエンシレージ（埋草）にする事である。平らたく云えば麦刈作物や農場生産物の莖葉青草などをサイロにつめこみ飼料に七〇%の水分を保たせ乳酸發酵をおこさせて腐らないようにした漬物なのである。したがつて此等をつめこむ場所がなければならない。このつめ込む漬物桶をコンクリート又は木、タタキで造つてこれをサイロと呼んでいる。

サイロはコンクリートで造るのが一番理想的でしよう。普通は半地上式（半分地上半分地下）のものがよく円筒形で直徑四尺～五尺で高さ（深さ）は十尺程度のものが一般によく利用されます。このサイロを造るにはコンクリートの型枠を作るのに經費と手数がかかりますが、地方事務所では鉄製の型枠を備え付けて居りますので、これを利用すると便利です。所要資材は直徑四尺～五尺で高さ（深さ）十尺のサイロでセメント十袋程準備すればよいでしよう。セメントの混合割合は次のとおりです。

	セメント	砂	砂利
基礎	1	3	6
壁	1	2	4 15
土塗	1	2 13	

サイロにつめる材料はカホン科の牧草又はいも蔓、青刈玉蜀黍、青刈大豆、青刈大麦等がよろしい。普通一寸程度の長さに切り一日～二日乾かしてつめた方が製品の出来が上等です。あまり水分の多いものは二割程度の切藁か乾草を混ぜてつめこむのも方法です。

火災の通報は
火事！又は503番へ

この七月一日から当市に常設消防団が新設されて居ります。之は一旦火災が発生したならば即刻出動して早期に火災を鎮め、災害を最少限に食い止めることを目的として設けられた機関であります。従つて当非番隔日勤務の態勢で、当番員は火災発生を知つた場合は昼夜を問わず、即刻出動出来得る万全の態勢を整えて居ります。之が爲には深夜と雖も当番員は、出動態勢をととのえて居り、又非番員に於いても帰宅後の行動に相当の制約を設けて非常召集に応じられる様になつて居ります。

發足以来未だ日が浅いながら、既に二回の出火に何れも確知後約三十秒で出動して居ります。しかし兩度とも、今少し通報が早ければより以上に被害が軽減されただろうにと悔まれました。

市長、議長を囲んで
合併後の農業對策を語る

大野市農政研究協議会は下の日程の通り市長、議長を囲んで「合併後の農村対策について」の懇談会を開催する。同会では一般農民の多数参加を望んでいる。日程場所は次の通り

八月七日午後二時より小山出張所
八日　〃　阪谷出張所
九日　〃　富田出張所
十六日　〃　下庄公民館
十七日　〃　上庄小学校
十八日　〃　乾側出張所
尚総会は八月二十一日午後二時から中央公民館で開く

市発展の基となる 団体個人の表彰

大野市が誕生した意義深い七月一日を記念して、成績優秀で他の模範となる市内の個人、団体を表彰することになりました。これは「大野市表彰規程」によつて毎年行われますが、晴れの表彰をうけられた方は次のとおりです。

◇個人の部
▼産業功労者　松田市太郎（森目）
〃　松田弥一（下据）
〃　天木亨（中野）
▼優良生徒　坂本きよみ（森本）
▼自治功労者　奥村忠兵栄（下丁）
〃　浅山静（横下）
▼社会事業　小野田理由輝（木本）
▼節婦　十時仲（清滝）
▼納税　稲郷（小林伊佐吉）
〃　下打波（林達也）
▼農業団体　右近次郎（清水忠雄）
▼消防団体　中神明（吉森喜一）

◇団体の部

水魔に備えて
万全の水防態勢！

大野市水防団は台風シーズンに備えて七月十四日午後一時、灼熱焼くが如き暑さをおかし、真名川の西五箇橋附近で水防演習を行つた。

昨夜来、当地方の降雨量は一〇〇粍に達し、各河川とも出水益々激増の報告あり、特に真名川は警戒水位二・二米を突破した午前十時より下庄水防団は警戒態勢に入つている。午後二時巡視員より横枕地係堤防欠壊の報あり水防団員全員出動の想定にもとづき水防団員は全身汗にまみれ、機敏な手さばきで蹇張工三マタ工、木流工等の一朝ことあるの場合、万全を期しての作業訓練を行い、午後三時山津水防団長の訓示があつて団員の士気いよいよ高く解散をした。

（写真は機敏な手さばきで作業中の団員）

×　×

◆市民税二期分　納期は八月三十日限り

当市の物価は県下最高

××××婦人会が調査××××

「大野の物価は、他の市とくらべて、果して高いのだろうか、安いのだろうか」と云う事は、私達が常に日頃考えている事ですが、この程、県下七市の婦人会員が、六月十五日現在で自分の住んでいる市の物価を十八品目にわたつて一齊に調査いたしました。その結果出て来た、十八品目の合計額を比較してみると、大野市は七百六十四円余りで、第二位の福井市を八十二円余りも引きはなして、実に県下最高の物価高を示しています。最低の武生市とは百七十二円余りも違うと云う驚くべき数字です。

しかし輸送の関係で高価になる魚類や、茄子と胡瓜の様なハシリの時期にこの調査を行つた品物もあるために、この様な数字が出たものですが、田園都市と銘打つている私達の大野市が他の大消費都市と比べて物価が高い事は不思議に思う程です。

大野婦人会では、近日中にこの調査の結果を中心に商工会議所関係者を招いて座談会を開く計画をしていますので、その時には御参集下さつて、買物上手な主婦となつて頂きたいと思つております。

上にこの調査の結果をかかげてみます。

皆さんで検討をしてみてください。

	野菜	魚類	上牛肉	調味料	燃料	合計
	500匁	500匁	100匁			
武生市	円 46.3	155.9	190.0	150.6	49.3	592.1
鯖江市	51.8	176.4	188.0	153.0	56.1	625.3
小浜市	55.0	187.2	176.0	153.1	56.4	627.7
勝山市	74.4	198.8	180.0	142.7	43.7	639.6
敦賀市	62.8	180.8	200.0	150.4	56.2	650.2
福井市	49.8	228.9	187.6	155.5	60.7	682.5
大野市	73.0	313.0	180.0	151.0	47.6	764.6
平均	59.0	205.7	185.9	151.0	52.9	654.5

注　合計及び燃料中の木炭は十分の一俵の値段である。又牛肉は上肉のみを合計に入れた。

×

農事メモ

八月は一応夏型の晴天が期待されるが、天気はやや不安定でときどき雲や雨が多くなる。特に月の後半には天気の崩れる可能性が大きい。気温は始め平年並だが、後下降傾向で時々低温が出現する。月の半ば過ぎから北日本を中心として強い低温の起るおそれがあり本県もこの影響を若干受けるかも知れない。降水量はやや多く日照はやや少目と予想される。

〔耕種〕

稻の一生の中で最も水を必要とする時期で古老は花水と云つて重要している。

花水が不足すると穂揃が悪くなり粃が多く減収を来すから水廻りを欠かしてはならない。とかく八月に入ると水田は投げやりに成り易いから特に注意してほしい

この地方は一般に落水期が早過ぎるから穂揃いしてから二十五日内外で傾穂期に達した時排水する。

但し湿田の場合はその程度に応じ、これより十日位早目に落水して差支えない。

〔病虫害〕

首イモチ　中晩稻の穂首イモチに対しては走り穂の見えたときと穂揃い期の二回セレサン石灰粉等水銀製剤を撒布するとよい。首イモチは予防第一であることを銘記してほしい。

わらむし　あまり多発しないかとも思われるが、発生予察に注意して八月五日から十二日頃までにホリドールかBHCを撒布する。なるべく動力撒粉機等強力なものが望ましい。

苞虫　幼虫の幼齢期は比較的薬剤に弱くホリドールBHC、DDTなどいずれでも容易に駆除出来る。苞虫に喰われるなど農民の恥である。

〔蔬菜その他〕

結球白菜金沢白菜は概ね十日前後に播種するのが適当である。早播きすぎると病虫害の危険が多いし、播きおくれると結球率は低下する。早魃続きで適期播種が困難な見込のときは「練り床」栽培が望ましい。「練り床」の場合は完熟堆肥を混ぜ、練り過ぎにならないよう注意する。松島白菜のような早生種はやや遅蒔が出来る。いずれも生育初期に薄い水肥を施すとその効果顕著である。

菜種　油糧資源として重要であるから出來るだけ増産してほしい。早期収穫を希望して「みちのくなたね」を作る場合は播種期を遅く九月一日頃やや密植（反当四千五百本）にする必要がある。いずれも苗床に於ける厚蒔の害は顕著で髓部伸長の結果収量が激減する。間引、移植を早目々々に実施してほしい。

玉葱　玉葱の種は貯蔵養分が少く發芽、初期生育が極めて悪いから、苗床に完熟堆肥を混和し、敷藁、間土を上手に使う等よく工夫してほしい。近年種子不足から不良種子をつかませられ易いから信用ある種苗商から購入するようにしたい。

れんげ　自給肥料源として亦サイレージの原料とし重要なものであるから極力増反してほしい。反当播量を五合見当とし秋期に過燐酸石灰を施して合理的に栽培して欲しい。

×

人事

【異動】

民生課長　安川金弥（林務課長）
林務課長　羽生敏夫（広報統計係長）
商工課長　水上太二（人事・選挙庶務・消防・秘書係長）
人事・選挙・庶務・消防・秘書係長　葭安亨（固定資産税係長）
民生課　佐々木徳（総務課）
林務課　永見道子（総務課）
総務課　中谷八重子（民生課）
大野市常設消防分団長　増永屢三郎（民生課長）
七月一日付

【採用】

大野市常設消防分団部長　永田正元　大野市消防吏員　清水重雄　〃中川太　〃旭光也　〃伊藤一郎　〃本田彰　〃大久保光雄　〃印牧新之助　〃米村達夫　〃渡辺昭良　〃辻豊　〃巻寄則夫　〃斎藤滝児　〃斎藤誠一郎　〃加藤俊雄　〃佐々木治男　〃松田信行　〃藤森襞雄　〃神谷正夫
七月一日付

【異動】

固定資産税係長　村中清
七月十四日付

【辞令】

技師　多田省二　大野市富田診療所長を命ずる　七月十九日付

水害の防止は山林行政から

七月十二、十三の両日、炎天下を冒し市議会林務委員は、市の林地状況を視察八五粁の行程にわたつて踏査を行い、市総面積の七四%を占める林野（壹万參千九百余町歩）に対して、今後行われる林業行政の大検討をした。その結果、新設林道の計画、市行造林二〇町歩実施、一般民有林増林計画等、当市治山治水の万全を期する事によつて、産業發達の基を作り、更に観光都市の面目を發揮する一石二鳥の計画が立案された

農業委員会役員決まる

七月十五日、農業委員会が開かれ次の通り役員が決まつた。

委員会長
第一地区　寺島藤一郎
第二〃　高田新左衛門
第三〃　千策末吉

委員会長代理
第一地区　永見守一
第二〃　阿部勇吉
第三〃　広瀬土松

代表者会議員
第一地区　西川文右衛門
第二〃　本田茂
第三〃　前田平雄

農協及共済組合の理事中より推選した、農業委員の内第三地区委員は　多田忠直氏（伏石）に決まつた。

夏の防犯に協力して下さい

大野警察署では七月十日から八月二十日までの四十日間を夏期防犯強調月間として、各種の事故防止と防犯運動を実施しておりますので、皆さまも御協力を願います。

一、水死事故を未然に防止し、水泳場での盗難防止に協力して下さい。

二、花火による火災、やけど、その他の事故を無くしましよう

三、夏期休暇中の青少年の不良化を防止して下さい。

四、人盛りを狙つて各方面から不良徒輩が入り込み、すり、暴行、たかり等の犯罪が多くなるから注意し、もしこれらの事件が発生したら最寄の駐在所へ連絡して下さい。

五、女の方は極端に露出的な服装や華美すぎる服装をやめ、婦女子の夜間一人歩きは慎みましよう。

六、夏は住宅等が開放的になりやすいから、貴重な家財は外部から見えない場所に保管して、犯罪を誘発させないよう注意して下さい。

社会福祉を推進する大野市民生委員 ①

清水上一、二、三区田中竹次郎（清水上）
清水上四、五清滝　萱岡喜美（〃）
亀山上、清水中　井桝憲次郎（〃）
清水下、亀山下　石本登美（亀山下）
水落一、二　堀正（水落一）
一番上、二番上　齋藤フジオ（一番上）
一番下、二番下　宮田準（一番下）
三番上、四番上　田中藤一（四番上）
三番下、四番下　堀福子（四番下）
五番上、寺上　松田正栄（五番上）
五番下、寺下　高瀬昇（寺下）
大和、末広　松田さく（大和）
神明下一、三、四　二宮竜蔵（寺下）
神明中　選衡中（神明中）
神明上、一、二、三　中沢勉（神明上）
横下一、神明下ノ一　川瀬尚（横下）
横下二、三　浅山静（横下）
春日五、横上一、二　川崎よしの（春日五）
春日四　齋藤甚作（春日四）
春日三山内ますえ（春日三）
春日一、二　永見守一（春日二）
旭一、二、三　原重治（旭）
昭和、篠座下　北野ひさを（昭和）
篠座中、春日野　猪島逸男（篠座中）
篠座上　松谷正（篠座上）
下舌、上舌　選衡中
深井、飯降、鍬掛　泉キミ（鍬掛）

（以下は紙面の都合で次号に登載）

明るい市民たち ③

約八五〇町歩の水田面積を有する純農村地帯にある上庄地区は、生産と経営的合理化を如何にしたら出來るかと一番なやんでいるところかもしれない。形式的な高流しや、カマド等の生活改善よりも、先ず第一に営農の仕組みの変革が生活改善をする何よりのキメ手であることだと努力もし、又実証されているそれは一、二〇〇戸の四割の農米が耕耘機の共有者で八五台の所有内訳は七二台が共同購入で平均四人仲間残り十二台が個人所有で機械化農業経営からうまれる労力の節約は（例えば一町歩位の田は二日で荒起しがすんでしまう）いきおい婦人の手間を軽くし、家庭内の仕事にふりむけられる事と、鼻うたまじりで耕作出來る男の手間が、未開拓の分野にまで發展してゆくことである。すなわちこの二三年間に煙草や白菜作が急激にふえ、煙草七〇町歩余煙草跡作の白菜が大体六〇町歩、その收穫高は白菜で二二、五八四貫もある。では一体なぜこんなにふえたかと言うと、俗に言うバンのある田であること、次に協同組合が積極的に購入資金を優先的に貸付し、長期返還の制度をとつている事は三月現在の農村漁業資金貸付額は四、二八五万円に達していることでも判然とする。こうしたことをみると何もかも上庄よいとこと早合点するかも知れないが、なお今後に残された幾多の問題はあると思われる。もてる者（富農）ともたざる者（貧農）の差が大きくなつて反目することや、この地元の農村婦人が若がえつたとしても、次から次へと拡張する野菜作り等に、依然として手間がそそぎこまれてゆく過重労働の問題、機械化によつて男だけが「七月男」になりはしないかと言う問題等々。しかしながら昨今とくらべて飛躍した同地区は必ずや、これらの諸問題を克服して眞の田園交響曲を高らかにかなでる事もさして遠くはあるまいと念願するものである。

（写眞はエンジンの音も軽やかに起耕中据地籍）

◆ 時間勵行　あなたから

サイレンは鳴るが？

一日三回吹鳴される市のサイレンが、どうしたことか正確な時刻に鳴つたためしがない。早かつたり遅かつたり、時には五分以上も違うことがある。朝のサイレンで活動の生気をふるい起し、夕のサイレンで感謝と慰いの喜びに浸たるのは、何としても嬉しいことであり意義のある事である。それが、その日その日で時間がくるうのではスッカリ気分がぶちこわされてしまう。又一面市役所と市民の無形的なつながりの上にも、大きな障害にもなると思われる。希くは正確な時報であるサイレンにしてほしい。（大野地区M生）

地区座談会について

市になつて広大な地域になつたので、市の行政方針やその運営が仲々市民全体に徹底しないうらみがあり、又市民が市当局に要望したい事などありながら、仲々通じないのが実情であります。「市長を囲む座談会」が年一回位ある様ですが、忙しい市長が各地区を度々まわることは困難でありますから、せめて各課長が度々地区に出向いて座談会を催すことは出来ないものでしようか、大がかりな大名行列式なものでなく、必要地区に必要課長が出向く実質的なものにしてほしいと思う。（上庄地区K生）

「地区だより」がほしい

市政の動きを知る最も手近かな市報は私どもにとつて、とてもよいくわだてだと思つて喜んでいます。毎月の市報を隅から隅まで読んで居りますが、悲しい事には身近かな地区の出来事が殆んどのつていません。旧町村時代には館報があつて村の行事などがこまかくのつていて非常になつかしさを感ずると共に村の歩みも解りましたが、市報にはそれがありません。簡単な欄でもよいから「地区だより」を設けて下されば他の地区の状況もわかつて有難いと思います是非新設して下さい。（阪谷地区W生）

文藝作品と論文の懸賞募集！

締切りは九月末日

◆応募についての御注意

1 募集する種目　◇小説、コント、随筆　四百字詰原稿用紙三十枚以内　◇詩、和歌、俳句　一人三篇以内　◇論文　大野市の美点と欠点（歴史、伝説、風習、地理的条件、政治、経済、産業、教育、文化、宗教等）凡ゆる角度から大野市の美点と欠点をあげ、その対策に論及する。四百字詰五十枚以内

2 締切日　昭和三十年九月三十日（当日の消印あるものは有効）

3 主催者及び送り先　大野市中野　大野市教育委員会社会教育課　文芸作品募集係

4 応募資格　大野市民たること

5 審査　福井県文化協議会　文学部門選者

6 表彰式　各種目別に入選一点、佳作一点をえらび十一月三日文化の日に行う。

▼尚、入選者には記念品、賞状を贈る。

市民の声

伝説と史跡

赤根川　鞍ケ淵

今より約八百年前、現在の大門尾永見、坂戸のあたりを「牛ケ原庄」と呼びこの一帯が山城の国醍醐寺の寺領となつていた爲、平泉寺の僧兵との間に小さい争いが絶えなかつた。その頃の牛ケ原城主瀧川時治は平泉寺衆徒に攻められ無残な最後を遂げたが、その時の概要を太平記は次の樣にしるしている。（現代文に意訳）

「時治は北国を鎮めるために越前大野郡牛ケ原に拠つた。その頃、六波羅敗北の報が平泉寺衆徒に聞えるや彼等は恩賞にあずからんとし、七千余騎をもつて五月十二日牛ケ原に押し寄せた時治は僅か二十余人でこれを防いだが、敵は早くも牛ケ原の後の山に攻め上つた時治はこれ迄と思い、近くの寺僧を招き、奥方と二人の男の子に後生菩提の道を説かせた。寺僧は「殿と二人のお子は男であるから命をとられるだろうが、そなたは女人であるのでよもや命はとられまい。さればこの世に残つて亡き人の冥福を祈られよ」と教えると、奥方は「鳥や獣でさえも夫婦親子が睦じく暮すのに、私一人が生き残つて夫や子を先立たせる事は出事ません。私も一諸に命を落しましよう」と云つてゆずらない。その内に敵のときの声も館に迫つて来たので、二人の子を櫃に入れて近くの淵へ身を投ぜんとしてやつて来たが、この世の思い出に櫃のフタをあけると二人の子が「母樣、これからどこへ行きますの？」と聞くので、奥方は涙を押さえてこの川は極楽の八功徳池と云つて、幼い人達の生れる所です。サア母樣のように念仏を唱えながら川に沈みましよう」と云つて、子を従えて淵に身を投じた。

この淵は今の茜川下流矢村地籍で、古くは鎌倉ケ淵と呼んだが、後に鎌が淵又は鞍ケ淵と云つた。近年の河川改修で淵は河床となり今はないが、今も残る哀話は私達の涙を誘う。

（写真は赤根川・鞍ケ淵）

（紙面の都合で原稿の割愛を御詫びします）

ある会話

国民健康保険のはなし（続）

（問）国民健康保険には何か専用の施設がありませんか。

（答）国民健康保険組合で直営診療所を設置している処があり、レントゲンや手術室、病室も完備して手術や入院も出来る。大野市では富田診療所がこれに当る。又保健婦を置き、被保険者の家庭を訪問していろいろ指導や相談に応じている処もあり、助産婦を置いて組合員の姙娠出産、育児などの相談指導を行つて、市民の保健衛生の向上に、良い成績を挙げている組合もあります。

（問）組合で駆虫薬や殺虫剤などを配布する事は出来ないか。

（答）国民健康保険の被保険者が健康を※い、サントニンなどの駆虫薬を配つて蛔虫を駆除したり又DDTを撒布し「ハエ」や「カ」を駆除し日常生活を明るくすることは必要でもあり、有益なことである。所が現在は国保も経営が困難で、計画はあつてもなかなか実行出来ないが、市の保険組合が一本となり基礎が大きくなれば、実現出来る時が来ると思う。

（問）国保が市一本に統一されるとどんな点がよくなるか

（答）今まで各地域で思い思いにやつていた事を統一してやれば、少い経費で能率的に行屆いた仕事が出来ます。

※保持し医者に診てもらう受診率が少くなればなる程、国民健康保険組合の経営も楽になるから、組合員の保健衛生に役立つ事ならどんどんやれば良いのです。例えば年に二回位